



2021年

サクランボ病害虫防除暦

JA中野市営農センター

散布日	散布時期	散布薬剤(水 100ℓ当り)		収穫前 使用時期	使用回数 (以内)	散布量 ℓ/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注意事項
月 日	発芽前	①(水98ℓ) スプレーオイル アプロードフロアブル	2ℓ 100mℓ	発芽前 7日前	— 2回	300	(ハダニ類) カイガラムシ類	①胴枯病の枝は切り取り焼却する。剪定及び患部の削り取り後は、塗布剤を塗布する。 ②(胴枯病)の発生が心配される場合は、石灰硫黄合剤の10倍(発芽前)を単用散布する。 *石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールに飛散しないよう注意する。
* コスカシバ発生園は、開花期までにフェニックスフロアブルの500倍(開花期まで、1回・10aあたり5~200ℓ)を樹幹部及び主枝に散布する。								
月 日	4月中下旬 開花直前	② 展着剤 オンリーワンフロアブル	10mℓ 50mℓ	前日	3回	350	灰星病、炭そ病 黒斑病 褐色せん孔病	①ハマキムシ類 発生園は、フェニックスフロアブル4,000倍(前日、2回)を加用する。
月 日	5月上旬 落花直後 (前回から14日後)	③ 展着剤 サムコルフロアブル 10 ナリア WDG	10mℓ 40mℓ 50g	前日 前日	3回 3回	400	ケムシ類 ハマキムシ類 灰星病、炭そ病 黒斑病 褐色せん孔病 幼果菌核病	①ナリア WDG は、ぶどう・ピオーネ、洋なし・ルクチェ等に薬害が生じるので、飛散しないようにする。
月 日	5月中下旬 (前回から14日後)	④ オーシャインフロアブル アーデントフロアブル	33mℓ 25mℓ	前日 前日	5回 3回	500	灰星病 褐色せん孔病 幼果菌核病 オウトウショウジョウバエ	① 今回から収穫終了後まで展着剤は使用しない。 ② カメムシ類 発生園は、アーデントに代えてバイスロイド EW4,000倍(7日前、2回)を使用する。(果実汚染注意する。)
月 日	6月上旬 (前回から14日後) 高砂、佐藤錦など 最終防除	⑤ ナリアWDG ディアナ WDG	50g 10g	前日 前日	3回 2回	500	灰星病、炭そ病 黒斑病 幼果菌核病 褐色せん孔病 オウトウショウジョウバエ ハマキムシ類	① 【代替】ナリア WDG に代えてフルーツセイバー1,500倍(前日、3回)を使用してもよい。
月 日	6月中旬 紅秀峰 最終防除	⑥ オンリーワンフロアブル コルト顆粒水和剤	50mℓ 10g	前日 前日	3回 3回	500	灰星病、炭そ病 黒斑病 褐色せん孔病 オウトウショウジョウバエ	
月 日	7月上中旬 収穫終了 直後	⑦ 展着剤 コロマイト乳剤 トレノックスフロアブル スプラサイド水和剤	10mℓ 100mℓ 200mℓ 66g	7日前 21日前 7日前	1回 5回 3回	600	灰星病・炭そ病 幼果菌核病 褐色せん孔病 カイガラムシ類 ショウジョウバエ類 カメムシ類・ハダニ類 (ケムシ類)	①トレノックスフロアブルに代えて、キンセツ水和剤80の1,000倍(収穫後~落葉期、3回)でもよい。キンセツ水和剤80は葉が軟弱な状態で薬害(葉のせん孔)が心配される場合、クレフノン100倍を加用する。
月 日	7月下旬 (前回から14日後)	⑧ 展着剤 ダニゲッターフロアブル オキシラン水和剤 サイアノックス水和剤	10mℓ 50mℓ 166g 100g	前日 収穫後~落葉期 14日前	1回 3回 2回	600	ハダニ類 せん孔病 ケムシ類 (ハマキムシ類)	④ ダニゲッターフロアブルは「ぶどう」や「開花期の水稲」に薬害を生じるので、飛散しないよう注意する
月 日	8月上旬 (前回から14日後)	⑨ 展着剤 カネマイトフロアブル トレノックスフロアブル サムコルフロアブル 10	10mℓ 100mℓ 200mℓ 40mℓ	7日前 21日前 前日	1回 5回 3回	600	灰星病・炭そ病 幼果菌核病 褐色せん孔病 ハダニ類 ケムシ類 ハマキムシ類 (アメリカシロヒトリ)	① ハダニ類 多発園は、カネマイトフロアブルに代えて、ダニコングフロアブルの2,000倍(前日、1回)を使用する。
* 特別散布(8月下旬): カイガラムシ類幼虫の発生園はアプロードフロアブル1,000倍(7日前、2回)を特別散布する。								
月 日	9月上旬	⑩ ICボルドー66D ダイアジノン水和剤 34	2.5kg 100g	— 14日前	— 2回	600	褐色せん孔病 ハマキムシ類 アメリカシロヒトリ ウメシロカイガラムシ	① 【代替】ICボルドー66Dに代えて 4-4式ボルドー液でもよい。(展着剤加用)
月 日	9月下旬~	⑪ ICボルドー66D スミチオン水和剤 40	2.5kg 125g	— 14日前	— 2回	600	褐色せん孔病 ケムシ類 (コスカシバ)	①スミチオン水和剤40に代えてスミチオン乳剤の1000倍(14日前、2回)を使用してもよい。 ②コスカシバ 発生園は、落葉後にラビキラー乳剤200倍(落葉後~発芽前、1回)-(スミチオン乳剤なども回数に含め2回まで)-を樹幹部及び主枝に十分散布する。

当防除暦の複製・コピーを禁止します